

# 平成24年から令和3年の間に終了した事業

《平成25年》

## ●大野城市障がい者地域活動支援センターの指定管理業務 終了

平成21年より大野城市より指定管理を受け運営していました。利用者が日常生活や社会生活を過ごすため、さをり織り等の創作活動やカレンダー等の生産活動を続けながら、地域の方とも交流も深めていきました。



大野城市障がい者地域活動支援センター  
当時の様子

《平成28年》

## ●夏っ子クラブ(夏休み障がい児一時預かり事業) 終了

ハンディを持つ子どもたちを夏休みの間の週に2日、親御さんから預かり、ボランティアと一緒にレクリエーションや夏休みの宿題等、本人の充実した時間及び家族の一時的休養を確保することを目的に開催しました。



夏っ子クラブ当時の様子

《令和元年》

## ●小中ふれあいの旅 終了

ハンディを持つ子どもたちが親もとを離れ、ボランティアと共に一泊二日の旅をすることにより、さまざまな体験を通して夏休みの楽しい思い出づくりができました。



小中ふれあいの旅当時の様子

## ●指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業 終了

平成27年より障がい児・者の方の自立した生活を支え、抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、ケアマネジメントによりきめ細かく支援行ってきました。

●総合事業A型事業 終了

平成28年より、要支援等の認定を受けられた方へ緩和した基準による生活援助など多様なサービスを行ってきました。

《令和2年》

●タイムケア事業 終了

平成19年より、障がいのあるお子さんの保護者の方へのレスパイト（一時休息）を第一目的にしつつ、お預かりしたお子さんたちにも心地よい休日を過ごしていただけるよう支援を行ってきました。